

岩国市国土強靱化地域計画（素案）のパブリックコメントに対する本市の考え方

	該当箇所	ご意見	市の考え方
1	6 頁 2-2 地震による被害想定	✓この項は、どのような意図で地震のみ記載されているのでしょうか。地震については、地域別災害リスクを示すことが難しいということでしょうか。それなら、この項と次項の「2-3 地域別災害リスク」の採り上げ方について説明を加えるべきではないですか。	✓地震については、災害リスク（土砂災害や津波など）の原因となる自然現象であり、地震自体を災害リスクとして位置付けていません。その自然現象のうち地震については、発生の主な原因として活断層の存在を挙げることができます。この項は県内で確認されている活断層を示したものであり、次項に定める災害リスクとは異なるものです。
2	9 頁 2-3 地域別災害リスク「錦川の洪水浸水」	✓「錦川の洪水浸水」という表現は、近年横山地区で多発している内水氾濫ではなく、外水氾濫という理解でよいですか。それよりも深刻な堤防の決壊も想定しているのでしょうか。このような状況が発生するとした場合、錦川流域の降雨量についてどの程度の規模を想定されているのでしょうか。	✓大雨が降った場合の河川氾濫時に想定される浸水です。また、想定最大規模（錦川流域の2日間の総雨量465mm）の降雨を想定しており、堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食の発生も含むものです。
3	19 頁 2-4 災害に関する主要課題	✓災害による主要課題については、地域別災害リスクを踏まえて地域別に整理すべきではないですか。	✓この計画は、本市の各種関連計画の大きな指針として位置付けられるものであることから、市全体の横断的な主要課題として整理しています。
4	21 頁 3-1 計画で想定するリスクの設定	✓「想定するリスク」の被害用語のレベルがバラバラではないですか。「②高潮・洪水による浸水」については具体的に被害状況が記載されていますが、被害には家屋の流失などもあるので、「①台風・集中豪雨による風水害」や「④地震・津波による災害」と同様に、「②高潮・洪水による災害（水害）」とした方がよくありませんか。 「想定するリスク」は、災害の原因と結果を示していますが、「災害リスク」の災害種別との関係性を踏まえて「想定するリスク」を整理し直すべきではないですか。	✓御意見の趣旨を踏まえ、修正します。
5	21 頁 3-3 事前に備え	✓【事前に備えるべき目標】の「2 救助・救急、医療活動」「大規模自然災害等の発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に	✓これらの活動は、市とは別の機関が主に役割を担うことから、「行われる」としています。

	該当箇所	ご意見	市の考え方
	るべき目標	行われる」は、「大規模自然災害等の発生直後から救助・救急、医療活動等を迅速に行う」と修正すべきではないですか。	
6	22 頁 4-1 起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）の設定	✓「事前に備えるべき目標」の「1 人命の保護」に「1-6 災害による直接の被害ではなく、避難途中や避難後の災害関連死者（ストレスによる身体の異常、車中泊中の静脈血栓塞栓症、災害復旧作業中の過労などによる死者）の発生」を加えるべきではないですか。2015 年 4 月に発生した熊本地震では、死者 272 人の 80%近くが災害関連死です。	✓御意見の趣旨については、「2 救助・救急・医療活動」の「2-8 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理などによる多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生」に位置付けています。引き続き、避難所の機能向上や、災害医療体制の充実等に取り組んでいきます。
7	26 頁 1 大規模自然災害等の発生時に人命を最大限保護する	✓横山地区の住民は、水害時には平田地区にある総合体育館に避難することになりますが、その経路となる川西地区の道路が冠水している可能性も想定され、また総合体育館は他地域に比べ距離がありますので、避難場所の総合体育館に辿り着いても既に収容能力を超えていることが危惧されます。横山地区全域が 9 ページにありますように、2m 未満の洪水浸水想定区域となっていますので、地区内に洪水を想定した避難場所を整備することが必要です。人命保護の施策として、「災害時の拠点となる施設、避難場所等については、優先的に取り組みます。」と「防災機能を備えた公園の整備を進めます。」は、最重要かつ最優先施策です。そこで、歴史的文化的資産の多い横山地区の避難場所整備手法として、吉香公園内にあり、その三辺が白壁で囲まれている横山自治会館・芝生広場一帯を避難場所とし、白壁のない一辺も白壁を築造し、4～5 箇所の出入り口を地中埋設型昇降防水扉（手動型）とする以外は、周囲を全て白壁で囲むという防災事業案を検討していただきたく提言します。	✓いただいた御意見については、避難場所等の整備を進める上で、参考とさせていただきます。
8	33 頁 2-4 救 助 ・ 救	✓「非常用電源の多重化・・・災害による電力途絶時にも、災害拠点病院等の防災拠点施設の機能を維持するため、非常用電源	✓いただいた御意見については、今後の取組を実施する上で、参考とさせていただきます。

	該当箇所	ご意見	市の考え方
	急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶	の多重化を進めます。」とありますが、防災拠点の司令塔的行政機能、ライフライン機能や災害関連死も含む人命保護の医療・健康増進機能等を維持するためには、次のような施策の導入が必要です。岩国市の広域避難場所は総合運動公園となっていますが、新たに愛宕地区（岩国医療センターやスポーツコンプレックスエリア）も広域避難場所に指定し、電力会社の電力が途絶しても、電力と熱の供給が可能なマイクログリッドを活用した自立分散型地域エネルギーシステムを導入することを提言します。マイクログリッドとは、複数の分散型電源（例えば、燃料電池、太陽光発電等）、電力貯蔵装置（蓄電池、これには電気自動車の使用済みバッテリーも含む）、及び複数の負荷・需要家（一般家庭、医療・福祉施設、公共・商業施設等）から構成される特定地域におけるエネルギーシステムであり、送電系統（グリッド）から自立した分散型エネルギーシステムですが、連結しているグリッドとは区分開閉器・受電設備の制御センターにより電力の融通（売買取引）ができる構造となっています。また、電力以外にも、燃料電池等で作成される熱を行政施設や医療・福祉施設等の給湯や冷暖房、温水プールの水温や冷暖房の調節に使用することになります。なお、熱導管は、都市計画法第11条の都市施設とされていないので、共同溝に収容できるようにする工夫が必要となります。燃料電池の設置にあたっては、将来の水素社会の到来を見据え、水素ステーション（水素貯蔵供給施設）の設置を行うことが望まれます。温水プールにはサロンの機能を持たせ、被災者の健康増進に寄与するだけでなく、ストレスの解消に役立つようにします。	

	該当箇所	ご意見	市の考え方
9	39 頁 4-1 電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	✓「防災情報伝達手段の多様化・多重化」とは、具体的にどのようなことですか。 ✓災害時における衛星電話や IP 無線機の活用については、どのような取組みをされますか。	✓防災情報を住民に伝達する場合、一つの手段で行うよりも、複数の手段で行う方がより多くの住民に、より確実に伝達できるため、様々な伝達手段の整備を進めようとするものです。本市では、現在、屋外拡声子局・戸別受信機による防災行政無線、市民メール、市民ニュースアプリ、LINE 等の手段を活用していますが、引き続き新たな情報伝達手段の調査・研究に努めていきます。 ✓本市では、現在、移動系無線を活用していますが、中山間地域や遠隔地での運用に課題があるため、携帯電波を活用した IP 無線等を含めて検討していきたいと考えています。
10	54 頁 5-2 重要業績評価指標（KPI）一覧	✓KPI 項目の目標値（令和 9 年）の記述が「策定済」、「建設済」、「施行済」等については、策定年次、建設年次、施行年次の目標年次を記入できませんか。	✓御意見を踏まえ、修正します。
11	55 頁 用語の正確な記述と項目のダブリ削除	✓「多様な情報伝達手段の確保-避難情報手段の保有件数」の「避難情報手段」ではなく、「避難情報伝達手段」又は「災害情報伝達手段」と正確に記すべきではありませんか。 ✓「非常用電源の多重化-災害時等における燃料供給施設との協定締結-未策定-策定済-岩国地区消防組合」はダブっていますので、一つ削除してください。	✓御意見を踏まえ、修正します。 ✓一方を削除します。
12	巻末 用語の解説	✓「避難情報伝達手段」や「BCP（Business Continuity Plan/事業継続計画）」など、用語の説明が要ります。巻末に整理して入れてください。	✓御意見を踏まえ、巻末に追記します。
13	緊急輸送道路の整備	○愛宕山の米軍住宅道路について ✓大災害時に限らず命との時間との戦いで緊急車両の通過を認め	✓災害時に一般道が通れない場合、緊急車両が米軍住宅「ア

	該当箇所	ご意見	市の考え方
		てもらう。日本人も米軍人も緊急は同じと思う。ゲートは閉まっているので警備員を置くか無人化する。 ○R188号バイパス道と愛宕山の医療・防災センターについて ✓両センターが完成した頃からの思いですが、トンネルの上下線から入発進道路を造る（トンネル両側に）一般車も通れる2車線とし、避難道を兼ねる、南伸時に要望する。 ○マイカー等の市街地の乗り入れについて ✓以前、5月5日のフレンドシップデーの時に思った事ですが、緊急、市バス、介護、宅配等の車両の不便を守る。由宇188大規模農道あたり、岩国ICあたり、和木、新港あたりの3方に人流、物流の広い駐車場を造り、バスで会場まで岩国駅や新幹線駅や南岩国駅を経由したりしてピストンをする。普段は活用する。	タゴヒルズ」を通り抜けできるよう、岩国地区消防組合と米海兵隊岩国航空基地との間で、協定を締結しています。 ✓いただいた御意見については、今後の取組を実施する上で、参考とさせていただきます。 ✓いただいた御意見については、今後の取組を実施する上で、参考とさせていただきます。
14	洪水対策の推進	○排水ポンプ場について ✓近年は大雨を越えた豪雨が多いので満潮、高潮、豪雨の時、川の水位、水圧にポンプは吐出できるのだろうか。川の水位により高い吐出切替え配管を設けたり、非常用の非常（2段目）雨水用大型ポンプを設ける。 ○錦川の堆積土について ✓ポンプ場や護岸工事も大切だけど、土砂取りが先だと思う。県に堆積土砂取りを続けてもらう。土砂の一部は、大袋に保管して土のう用、県・市等の災害急事や川、海の工事に流用する。	✓排水ポンプ場については、優先順位の高いものから順次改修等を行っています。また、いただいた御意見については、今後の取組を実施する上で、参考とさせていただきます。 ✓いただいた御意見については、今後の取組を実施する上で、参考とさせていただきます。
15	津波、高潮対策の推進	○市の旧焼却場（商高校前）について ✓日の出町の新しい焼却場は海も近く台風時など度々侵入禁止になるらしいので高潮対策工事が終わるまでの間、発電機等でも稼働出来る程度の最小メンテナンスを続けて残して置けばよい	✓新焼却施設（サンライズクリーンセンター）については、道路冠水が見込まれる際には、進入できない場合がありますが、施設自体は、南海トラフ巨大地震等で想定される津

	該当箇所	ご意見	市の考え方
		と思う。	波にも耐えられるように整備されています。また、旧焼却施設（旧第一工場）については、既に廃止しており、再稼働は困難です。
16	コンビナートにおける防災力の強化	○和木町、装束町の石油コンビナートについて ✓緩衝帯がないので人災も含め将来的に新港―小瀬川間にグリーンベルトを造る。	✓いただいた御意見については、今後の取組を実施する上で、参考とさせていただきます。
17	その他	✓全路線バス停ピットイン方式確保 ✓交通渋滞解消対策として 緊急車両円滑走行確保 不具合発生車両待機場所 緊急的携帯電話使用等の交通安全対策確保場所として新設	✓いただいた御意見については、今後の取組を実施する上で、参考とさせていただきます。 ✓いただいた御意見については、今後の取組を実施する上で、参考とさせていただきます。
18	その他	✓岩国医療センター・コンプレックス公園歩行階段新設 南岩国駅方面から当該場所に徒歩移動 あまりにも長い登り坂、出入口付近人・車両分離 人の動線を考慮・遠距離無駄歩行解消対策 毎日毎日の車両円滑走行・歩行者の負担解消	✓いただいた御意見については、今後の取組を実施する上で、参考とさせていただきます。